



山陽小野田市

SANYO-ONODA CITY

活動取組

山陽小野田市の推進構想

- 1 地域力・学校力・家庭力向上プロジェクトの推進
 - 学校と地域・家庭等が連携・協働し、「人が育ち 人が輝き 人がつながるコミュニティ・スクールの創造」を図る。
 - 学びを通じて「ひとづくり」「地域づくり」に波及させる「地域学校協働活動」を積極的に推進する。

家庭・地域と連携・協働する学校づくりの推進



2 地域連携教育の「成果」と「課題」

- 【成果】**
- 市内全小・中学校で「学校・地域連携カリキュラム」が策定され、市内全校で改善に向けた協議が行われている。
 - 学校運営協議会等を通じ、地域住民と児童生徒がともに考える場の設定に取り組む学校が着実に増えている。

- 【課題】**
- 地域におけるボランティア活動については、コロナ禍で活動が停滞したためか、児童生徒の参加率が伸び悩んでおり、今後の働きかけが必要である。
 - 地域学校協働活動推進員の役割や活動について、教職員の認知度がやや低く、周知が必要である。

3 令和6年度の重点取組事項

- 地域と小・中学校を通じた9年間の「学校・地域連携カリキュラム」の効果的な運用と見直し・改善
- 地域資源を活用したふるさとを愛する心の育成
- 「地域学校協働活動推進員」の資質向上及び連携強化に向けた研修機会の提供

4 重点取組事項の進捗を測る指標

- 「学校・地域連携カリキュラム」の協議の場の設定 100%
- 地域住民と児童生徒がともに考える場の設定 95%以上
- 児童生徒の地域ボランティア活動への参加 80%以上
- 児童生徒の地域貢献意識 80%以上
- 地域学校協働活動推進員の認知度 90%以上

須恵小学校

ボランティアによる読み聞かせ



25年前から週1回全学級で行われている。子どもたちは、毎回本のおもしろさに引き込まれている。

厚狭小学校

のぼり旗の寄贈



地域ぐるみで子どもを育てる取組をさらに推進するために、地域住民からのぼり旗が寄贈された。

埴生中学校

中学生が先生役のスマホ教室



生徒が地域住民にスマホの使い方を丁寧に教えたり、質問に分かりやすく答えたりした。

地域力・学校力・家庭力向上プロジェクト研修会

研修会



地域連携教育推進に向けて、関係者が集まり、今年度の取組の方向性についての協議が行われた。